

午前10時41分開会

○嶋崎委員長 おはようございます。ただいまより保健福祉委員会を開会させていただきます。

新年度初めての委員会であります。お手元に理事者の新しい名簿もお配りをしていますが、お目通しを頂きたいと思えます。

欠席届が出ております。笛木副参事、公務出張のためでございます。欠席でございます。

本日、日程どおりに進めさせていただきたいと思えますけれども、事前に皆さんのほうにはお配りをしております。ご協力をお願いしたいと存じます。よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎委員長 はい。それでは、日程1、報告事項に入ります。

1番、新型コロナウイルス予防接種スケジュールについて、理事者からの説明を求めます。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 新型コロナウイルス予防接種のスケジュールについてご報告いたします。保健福祉部資料1をご覧ください。

今現在、5月9日までにワクチンが到着する数が示されてきました。その後も、恐らく安定的に供給されるというふうに見込まれますので、次のようなスケジュールでワクチンの接種のほうを進めていきたいというふうに考えております。

まず1番として、高齢者施設の巡回接種でございます。施設としては、THE BANCHO、いきいきプラザ一番町、ジロール麹町、ジロール神田佐久間町、かんだ連雀、岩本町ほほえみプラザ。特養ですとかグループホーム、こういった入所者並びに従事者ですね、高齢者施設の従事者に対して接種を行ってまいります。5月の6日以降、順次施設側と調整をして日程を決めて行ってまいります。で、またその3週間後、2回目の接種のほうも予定をしております。

次に、2番、高齢者への接種でございます。区有施設の接種会場としましては、こちら書いてありますとおり、千代田区役所1階の区民ホール、いきいきプラザ一番町、THE BANCHO、万世橋区民館、岩本町ほほえみプラザ、計5会場において実施をしていく予定でございます。

また、協力医療機関としまして、東京逋信病院、三楽病院、結核予防会、また、個別接種としまして、杏雲堂病院、半蔵門病院、こちらのほうを予定しております。今のところ、調整中でございます。

(2)としまして、時期としまして、75歳以上の方に関しましては、接種券の発送を5月10日、接種開始を5月の24日というふうに、スケジュールは組んでおります。また、2段階に分けて接種券を発送しようというふうに考えておまして、65歳から74歳に関しましては、5月の19日に接種券のほうを発送する、と。接種開始に関しましては、5月の24日から接種自体は開始しておりますので、あとは予約次第ということになってきます。

次の3番、基礎疾患及び一般区民への接種は次の段階になってきますが、接種会場としましては、高齢者と同じ接種会場を予定しております。接種券の発送時期に関しましては、6月22日を予定しております。基礎疾患につきましては、我々のほうでは、どなたが基礎疾患かというところは把握はできていない。自己申告であるということで、接種券の発

送自体は一般の方と同じにお送りするということになっております。ただ、今後もワクチンの供給状況などが一変、変更するようなことがあれば、接種スケジュールそのものにも影響してくる可能性がありますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

報告は以上になります。

○嶋崎委員長 はい。担当課長からの報告をいただきました。皆様からご質疑、ご質問をいただきたいと思ひます。どうぞ。

○大串委員 7日に頂いた資料には、予約の開始日というのはまた別に設けられていたんですけど、予約はどうなっているのでしょうか。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 基本的に、予約に関しましては、恐らくもう接種券が届いてしまったら、すぐに電話をかけてきたりするというふうに考えておりますので、そこについては、届き次第、うちのほうで予約ができる状況にしておくというふうに考えております。

○大串委員 その際の、予約で電話をかける、またはインターネットを使って申し込むとなるんですけども、現在コロナの相談の窓口としてコールセンターが用意されていますけど、そこと同じなのか、それから、人数、体制はどうなっているのか、お伺ひしたいと思ひます。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 電話での予約に関しましては、やはりコールセンターの番号、コールセンターで受付をすることを想定しています。で、回線としましては20回線用意しております。

○大串委員 20回線。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 20回線です。

○大串委員 すみません。もう一つお伺ひしたいのは、自治体によっては先着ですと、先着優先ですという案内をしているところがあるんですけど、千代田区の場合はどのようなになっているのでしょうか。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 やはり予約ということには事前予約になりますので、そういった意味では、いわゆる、もしかしたらそれが、先着という考えが、要するに予約ができ次第という形になりますかね。そういうふうには考えておりますが。

○大串委員 先着順ね。

○嶋崎委員長 はい。

ほかに。

○飯島委員 この2の高齢者への接種の区有施設接種会場の中で、開設日については別紙1という、別紙1というのが、私、ないんですが、どれなんですか。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 大変すみません。これはミスでございます。

○飯島委員 えっ。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 こちら、削除のほうをし忘れておりました  
……

○嶋崎委員長 ちゃんと頼むよ。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 開設日自体は、本当にカレンダーのような形で一つ一つ付けていかなきゃいけないんですけど、申し訳ありません。こちらのほう、別紙の1というのは削除でお願いします。

○飯島委員 はい。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 また、追って、予約の際とかには、そういったものも出せるようにしたいと思っております。

○嶋崎委員長 ちょっと待ってね。

ちょっと委員会資料なんだから、（発言する者あり）ここで削除はねえだろう。ちゃんと事前に分かっているんだったら、言ってもらわなければ、ね、出る前だったら幾らでも直せるけど、出ちゃっているんだから、簡単な削除というわけにはいかないんだよ。委員会資料になっているんだから。部長、これ、ちゃんとさ、ね、指導しておいて。ね。

○歌川保健福祉部長 はい。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 申し訳ありません。

○嶋崎委員長 続いてどうぞ、飯島委員。

○飯島委員 そうすると、この接種ができる場所、集団接種の場合には、今示されていませんけれども、おおむね平日の9時から5時までとか、連日ということなのか。それとあと、医療機関でというのは、これはそれぞれ病院によって全然違うのか。総合して、何日ぐらいで、この65歳以上の方が受けられる、そのめどというのはどうなっているんですか。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 会場の、いつ開かれるですとか、時間に関して、または病院のほうの開設日ですとか時間に関しても、今現在、調整中ということでございます。というのも、やはりそこに従事される方が……

○飯島委員 そうですね。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 どれぐらい従事されるか、しっかり人が配置できるかということにも関係しております、今現在それを順次進めているところでございます。ですので、こちらのところ、いつどの会場が開いているかということをお示しできてないというのはそういったところでございまして。

また、時間に関しまして言いますと、一応医療従事者に関しましては、医師会の会員の方、先生方ですね、医師会のほうと協力してやっていくということでもありまして、そちらとの調整の中で、午後の時間ですとかというのを平日のほう、行う。また日曜日に関しては、午前中も午後もとか、そういうふうなことも考えております。あくまでも、今のところ計画上の想定のスケジュールとしましては、大体8週間ぐらいで65歳以上の高齢者に対して接種を2回行う、計画では今組んではおります。ですので、5月の24日からもし始めたとした場合には、7月の中旬以降ぐらいですね。それで高齢者以上の方が2回、接種をできるだけの回数をやりたいというところでは計画を組んでいます、いかなせん医療従事者の方とか当てはめていって、またちょっと変わってくところはありますが、または、高齢者の方、区民の方が希望するとしても、最初から皆さん多くの方が接種を開始というか、希望されるかどうか、少し様子を見たいという方が多ければ多いほど後ろにずれていくかなということも考えられます。今はそういったスケジュールで動いてはおります。

以上です。

○飯島委員 そうしますと、ワクチンの到着予定というのが5月の9日ぐらいまで、そこまでで500人分も合わせて6,350人分が、到着のめどというのが一応ついていると。

で、それに比較して、対象者、これ、年齢だけで言うと、65歳以上の方が1万1,300人。そこから6,350人引くと、結局半分ぐらいの方が、65歳以上の方でも、この接種券の配送というのが、5月の19日までには行かないわけですよ、半分以上が。接種券も行かないわけですよ。接種券は行くわけ。全員に行っちゃうけれども、物は半分ぐらいしか受けられないという、ワクチン自体は半分ぐらいしか受けられませんよということなの。接種券は行っちゃうけれども。

○嶋崎委員長 ちょっと休憩します。

午前10時54分休憩

午前11時00分再開

○嶋崎委員長 委員会を再開します。

答弁から入ります。どうぞ、担当課長。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 一応ワクチンの供給に関しましては、この後も、今示されているのは9日までの数が示されておりまして、そこである程度見込みがつく、高齢者の方も予約ができる数が十分見込まれて、この後も国のほうの発表ではしっかりと入ってくるというところから、十分な量が今後ワクチンのほうは入ってくるというふうに考えております。

○飯島委員 じゃあ一安心しました。で、高齢者施設への巡回の接種で、決められた日が、接種したい方が具合が悪かったとか、そういった場合どうなるのかということと、それから在宅介護の方で、打ちたいんだけど、接種したいんだけども、行けない、会場まで行けない。そういう方はどうするのか。そこのところをちょっと伺いたいと思います。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 まず、高齢者施設の巡回接種に関しましては、一応その期間内で、もし仮に……

○飯島委員 何日かあるわけだ、一つの施設で。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 そうですね。高齢者施設を調整して、あとは医師会の先生がいつ行けるかというところで、日程を決めております。仮にもしその日受けられないという方がいらっしゃれば、予備日という形も調整できるかなというふうには思っております。

また、在宅といいますかね、会場まで来れない方。寝たきりの方とか、そういう方に関しましては、今のところ、国のほうの見解では、ワクチンについて、1回刺してしまっただけでバイアルですね。1人分取って、またそれを別のところに持って行ってというところは、なかなか難しいというところもありまして。ただ、その場で何人か、5人なら5人いて一遍に打てますよ、1バイアルはできますよとか、そういうふうな調整が可能かどうかというところであればできるかもしれないというところで、今現在検討をしているようなところですよ。要するに1人打って、で、そのバイアルでまた次行ってまた打つということは、それは駄目ですよというふうに言われてしまっているんで、1か所で何人か打たなきゃいけないというふうには言われてはおります。

○飯島委員 はい。

○嶋崎委員長 答弁、部長。

○歌川保健福祉部長 すみません、補足です。ワクチン担当、一生懸命いろいろ検討してはいますが、保健福祉部全体で何か対応ができないかということで今検討しては、

一つの方法としては、やはり個人のお宅に巡回のお医者さんが行くというのは、今申し上げたとおり難しいので、寝たきりというか、移動が難しい方に関しては、介護保険のサービスで移送のサービス等もあります。それから、デイサービスの場合の車を使えるかもしれない。この辺りも今検討しております、できれば介護保険の制度とか、それから独自に、寝たきりの要介護度の高い方の会場までの移送する形が何とかできないかという方向で、今、介護保険のほうでもいろいろ問合せをしながら検討しておりますので、よほど特殊な方、例えば集団接種会場に来ること自体が命に関わる、例えば気管切開をしている方とか人工呼吸器をつけているような方については難しいかもしれませんが、例えば歩くのが難しいとか、そういう要介護度の方については、会場までお連れするような方法を何らか考えられないかという方向で今検討をしています。決まり次第またご連絡をするし、そういう場合は、個別のご案内という形になると思いますので、そこは丁寧に対応したいと思っております。

○嶋崎委員長 飯島委員。

○飯島委員 そうすると、デイサービスに行っていらっしゃる方は、送り迎えがあるから行けるとい方がいらっしゃいますよね。そういう方はデイサービスの場所で何人かいらっしゃるわけだから、そこへお医者さんが行って、5人以上とおっしゃいましたけども、そういう形というのは、それは難しいんですか。

○歌川保健福祉部長 すみません、私が答えてはあれなんですけど、今おっしゃったようなこともいろいろ考えられるとは思いますが、先ほどから申しまわっているとおり、ワクチンの問題と、それから接種をする医療従事者の確保の問題も含めてありますので、どこでも行かれるというよりは、例えば、今のデイサービスの場合であれば、デイサービスの車で接種会場まで来ていただくというのがまず一番最初に考えるべきことかなというふうに思って、検討しているところでございます。

○飯島委員 そうすると、デイサービスに行っていらっしゃる方が同じ日を、接種を希望するとか予約をするとか、そういうことになるかと思いますが、そこら辺、調整が大変だと思うんですけれども、よろしくをお願いします。

打つ側の医療従事者の方というのは、千代田区の場合には、皆さん、もう既にワクチンの接種というのは終わっているんですか。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 今現在、医療従事者に関しましても1回目が始まっているところでございまして、一応集団接種会場に従事する医療従事者の方はできる限り早く打てるようにスケジュールを組んで、ワクチンを接種して従事できるように進めているところでございます。

○飯島委員 医療従事者の接種分というのは、ここの千代田区にというのは別枠なんですよね。で、この前、八王子ですかね、そこでお医者さん自身が、まだ自分は打ってないんです、非常に心配していますというふうに言われてました。そんなことがないようにぜひ進めていただきたいというふうに思います。今そのように調整しているとおっしゃったんで、ぜひお願いします。

以上です。

○嶋崎委員長 今のところをもう一回答弁、ちょっと再確認しておいて。

はい、どうぞ。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 医療従事者の分のワクチンとこちらに示してあります区民向けのワクチンというのは別でございます。医療従事者は医療従事者の接種というものをもう開始しておりまして、ただ、その中でも、集団接種会場で従事をされる医療従事者の方には、できるだけ早めに受けていただけるように今調整をして進めているところでございます。

○嶋崎委員長 長谷川委員。

○長谷川委員 予約をされた方で、例えば予約当日に体調が悪いといった場合の、その分のワクチンというのはどのようになるのでしょうか。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 突然のキャンセルですとか、要するに端数の分が生じてしまって、無駄になってしまうかもしれない。なるべくそれがないように、予約のほうは当然ぴったし済むように予約をするんですけど、今、長谷川委員おっしゃったように、突然のキャンセルに関しましては、国のほうもいろいろとここに来てこういったやり方もあるみたいなことをいろいろとおっしゃっています。で、我々もちょっとそういった国の見解等をしっかりと精査しながら、何ができるのかというところは、今後、検討していかなきゃいけないなというところで今進めている最中でございます。

○長谷川委員 そうですね。当日のキャンセルってあるかと思うので、無駄にならないような工夫をしていただきたいと思います。

それで、このワクチンを接種するに当たって、自分自身の体調管理というか、接種を受けても大丈夫だなという目安というのは、普通の予防接種と同じように考えていいのでしょうか。また、会場に伺ったときに、そこでも問診などあるかと思えますけれども、そこでの体調の聞き取りによって受けられないとか、そういう状況になったときにどのようにするか教えてください。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 やはり持病とかもともとお持ちになっている方ですとか、体調に不安がある方、いらっしゃるかと思えます。そういう方は、よく、前もこの委員会でもお伝えしましたが、かかりつけ医、自分で受けていらっしゃるかかかりつけ医にぜひ事前に相談していただきたいと思います。また、ほかのワクチンと同様かという話ですけど、ある程度、ほかのワクチンでも当日体調が悪ければ受けられないというところでは同じでございます。あとはアレルギー症状という形で、このワクチンに含まれている成分、それに対してアレルギー症状があるかどうかですとか、あとは発熱ですね、37度5分以上あるかどうか。そういったところでワクチンが受けられるかどうかという、当日の状態を診て、予診で先生が判断するというところではあります。ただ、そのとき発熱をしてそのときだけだというときであれば、また日にちを別の日に予約を取っていただいて、再度受けていただくとか、そういったことも可能でございます。無理にその日に、体調が悪くてもどうしても打つと、打たなくてはいけないというわけではありませぬので、ぜひその点は、そのときの体調等々を予診の先生に相談してお伝えしていただければなと思えます。ただ、事前にかかりつけ医の、持病のある方はかかりつけ医の方に相談はぜひしていただきたいと思います。

○長谷川委員 そうですね。はい。事前にですね。

もう一点、すみません。ありがとうございます。事前にかかりつけ医に相談ということについては、恐らく受診券にもご記載いただくことだと思いますけれども、よろしくお願

いします。

それで、先ほどちょっとおっしゃったんですけども、もしワクチンの中にアレルギーになるようなものを含まれるというか、例えばインフルエンザとかだと卵ですよ。で、そういうような、そのワクチン自体にアレルギーを起こしそうなものが入っているとかという、そういう情報というのは何かありますか、

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 例えば、今現在、新型コロナウイルスのワクチンとして認められているものはファイザーのものでございまして、その中に含まれている、添加物と呼ばれているもの、そういったものの一覧表等ございまして、それは予診の説明書という形で、予防接種についての説明書という形で、皆さんの接種券、個別で通知する接種券の中にも、その説明書を入れてお送りします。だから、しっかりそれをご覧になっていただきながら、かかりつけ医の先生に相談してみても判断していただければなと思います。

○長谷川委員 はい。ありがとうございます。

○嶋崎委員長 ほかにありますか。

○内田委員 この予防接種のスケジュールがやっと出てきて、何か少しずつ希望の光が見えてきたかなと思ってます。皆様のご努力に感謝したいと思います。

ちょっとお聞きしたいのは、この接種の証明についてです。これはいろいろなご意見があるのは承知しています。ただ、私たちも時々区民の方から聞かれますので、改めまして証明書に関する区のお考えをお聞かせください。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 例えば接種券のほうですね。2回受けていただくので、1回打った段階ではお返しします。で、そこではもう、1回打ったということが分かるような状況になっておりますが、今、内田委員おっしゃっていただいたように、接種を2回、もう全部受けましたよという証明書みたいなものですね。そういうものに関しましては、VRSとって、また、国のほうで、今現在のワクチンの接種状況がどうなっているかというシステムが今後立ち上がってまいります。その中では、ワクチンの接種に関しての証明書についても、そこから取り出すのかどうかとか、そういった話も聞いておりますが、今現在、どういうふうな形になるか。その証明書がですね、ということはそこまで具体には示されていないんです。ですので、ちょっとその部分、国のほうから出されるものをしっかり見て、はっきりしましたら、皆様のほうにも情報提供のほうをすぐにしたいと思います。

○嶋崎委員長 いいですか。

ほかに。

○岩佐副委員長 3番の基礎疾患の方への接種についてなんですけれども、インフルエンザの予防接種のときには、たしか基礎疾患のある方に一定程度無料化したということで送ったはずなんです。で、先ほどのご説明ですと、一般の方と同時となる、と。要は自己申告だというお話だったんですが、一定程度の人に対しては、例えば重い精神疾患の方とか、腎臓病の方ですとか、あと心身障害の方というのは、これは障害者手帳もあることですから、100人ぐらいだったと記憶しているんですけども、事前に送れるはずなんです。これ、4万6,000人いらっしゃる中で、絶対にタイムラグとしては、かなり半年以上、最初に受けられる方と最後になってしまう方とではタイムラグがある中で、やは

り基礎疾患のある方はどうしても優先度が高い。特に障害者手帳を持っている方はかなり高いんじゃないかと思うんですね。で、抽出できるんですよ。ということは、ここは、やっぱり何らかの形で、基礎疾患のある方は抽出して事前にお知らせをするとか、優先枠をつくるということが必要だと思っているんですけども、あるいは先ほどの、余っちゃったワクチン、当日の、ちょっと余っちゃったよねというときの枠としてエントリーするとか、そういったやり方を、千代田区程度の人数だったら可能ではないかと思うんですけど、工夫はできないでしょうか。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 確かに障害ですとか、そういった手帳を持っていらっしゃる方とか、そういったところでは把握をしているのですが、今回のワクチンに関して基礎疾患のある方ということに関しましては、慢性の呼吸器の病気がある方とか慢性心臓病がある方、それぞれBMI値30以上の方とか、そこが並列に示されていると。だからその中で優先順位を、特に国のほうは、今現在示しているわけではないんですね。

ただ、岩佐委員おっしゃっていただいたように、ちょっと検討できる余地があるかというところは、今のところ6月22日を予定にはしていますが、少し、ちょっと検討しなきゃいけないかということは内部でやらせていただいて、また、先ほどのキャンセルのところに対応できるかということも、そこについても、ちょっとできるかどうかということも、すみません、調整を、検討しなきゃいけないなということでさせていただきたいと思いますので、今の段階だとこの程度の回答になってしまいます。

○岩佐副委員長 ぜひお願いします。

○嶋崎委員長 はい。

ほか、よろしいですか。

どうぞ、大串委員。

○大串委員 周知の方法を教えてください。

○山岸新型コロナウイルス予防接種調整担当課長 現在の周知の方法につきましては、まず千代田区のホームページを適宜更新して、広く周知を行っているところです。また、「コロワくんの相談室」というものを設置しておりまして、「コロワくん」とは、質問すると自動で返答が返ってくるLINEチャットボットなんですけれども、千代田区もその「コロワくん」というものと連携をさせていただいて、例えば「千代田区接種会場」とLINEで質問すると、自動的に本区の会場の情報が返信されてくるような仕組みを整えております。

さらに、広報千代田も併せて活用しておりまして、5月5日発送予定の広報千代田につきましては全戸に配布し、区民の皆様に周知を行う予定でございます。

以上です。

○大串委員 5月5日号の区報に載せますよということなんですけれども、これは新聞折り込みではなくて全戸配布で行うということですか。で、全戸配布、大いに結構なんですけど、中には、結構、タワー型マンションとか、中に入れない、要するに、何というんだ、全戸配布のあれもできないというマンションもあるんですけれども、そういった点はどうなんでしょうか、どう対応しますか。

○山岸新型コロナウイルス予防接種調整担当課長 そういったタワーマンションのほうに



つきましては、ちょっとこちらで、また、中でどういうふうに周知をするかというのは、少し検討させていただきたいと思います。できる限り区民の皆様にも周知が行き届くような形で検討したいと思います。

以上です。

○大串委員 ぜひお願いします。

それと、できれば、町会の掲示板がありますよね、地域に。掲示板に貼って、多くの人が見て知ることができるように、それもぜひお願いします。

○山岸新型コロナウイルス予防接種調整担当課長 実は、以前も、3月の3週から4月の第1週にかけて、町会の掲示板等を通じた周知も行っているところですので、今後も併せてそういった形での周知も検討していきたいと思います。

以上です。

○嶋崎委員長 検討していくって。

○大串委員 それは、そうすると、5月の5日、区の広報と併せて、日程的にはその辺でできるということですか。

○山岸新型コロナウイルス予防接種調整担当課長 実施時期につきましても、できる限りこちらのほうで適切な時期を見極めてやっていきたいとは思いますが、可能な限り接種券を送付する前後でやるのが効果的かなと思いますので、その辺も併せてやっていきたいというふうに思っております。

以上です。

○嶋崎委員長 多分大串委員が心配しているのは、ご高齢者が対象だから、ネットだとかLINEだとかというのはなかなか難しいよねと。そういう中で、丁寧に区報も使い、そして町会の掲示板というのは、実は何種類かあるはずなんですよ。区が持っている、各それぞれの町会にある掲示板と、町会が独自に持っている掲示板があるんで、ここもどういうふうな形でやるのかというのは、区の広報の掲示板というのは、それは区で仕切っているからできると思うけれども、町会の掲示板というのは各町会長さんなり町会が保有している部分の掲示板だから、そこは連合町会長さんとか町会長さんとかとよくやり取りをしてもらわなきゃいけないし、それから、さらに、貼るにしても、ちゃんと整合性の合った貼り方をしないと、もらったけど貼っていなかったとか、貼ってあったけどまだもらってなかったなんていうことを多分心配していると思うんで、そこら辺をきちっと整理してやってくださいよということだよ。

○大串委員 はい。

○嶋崎委員長 で、いいんでしょ。

○大串委員 はい。

○嶋崎委員長 ということなんで、そこら辺も含めて、ちょっともう一回答弁して。

どうぞ。

○山岸新型コロナウイルス予防接種調整担当課長 今後は、出張所とか、あとは町会長にも周知を行って、広く掲示板に周知が行き届くようにしていきたいと思います。

以上です。

○嶋崎委員長 何か不安だよ。

○大串委員 ちょっと不安だね。（発言する者あり）

○嶋崎委員長 いずれにしても、そちらも、今いろんな試行錯誤しながらやっているわけで、やっぱりいろいろと、多分、先ほど来八王子の話も出ているけど、ほかの自治体でいろんなことをやって報道されて、で、そういうことも含めて、皆さん多分心配しているんだよ。だから、我が区でこれから始まる場所では、できる限り、できる限り寄り添った形でやっていただきたいというのが多分委員さん全員の気持ちなんで、そこを含めて、ちょっと部長、最後さ、きちっとやりますということだけは、ちょっと言ってくださいよ。担当部長。

○歌川保健福祉部長 今回のコロナのワクチン、希望する方に円滑に受けていただくというのは私どもの大命題だと思っております。そのためには、今、委員からご心配があったとおり、周知の徹底というのは大事になってまいりますので、ご提案のありました町会の掲示板も含めて、ご指摘があったとおり、整合性が取れるように、広報等と併せて、しっかり周知をしてまいります。

また、当初に始まる高齢者の方については、なかなか、通知文が来たことにも気づかないというような方もいらっしゃると思いますので、これは先ほども申しましたけど、保健福祉部だけではなく全庁挙げてなんですけども、例えば保健福祉部の中で言えば、介護保険に関わっていただいているヘルパーさんとかケアマネさんとかあんしんセンターなどからも、何か必ず接する機会があります。そういう、社会福祉協議会も含めて、こういうもの、千代田区で始まっていますけどどうですかというような、日頃のちょっとした声かけも含めて徹底できるように、今、関係者といろいろ打合せをしておりますので、これを徹底して、気づかないで受けられなかったとか、予約の方法が分からなくてできなかったとか、そういうようなことがないように、きめ細かな対応をしてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○嶋崎委員長 はい。

何かあるの。飯島委員。

○飯島委員 多分この接種券というのは、住民票に基づいて発送されるんだと思うんですね。ご自宅じゃなくて、他の自治体にある病院なり施設なり、そういうところに行っている人は、このワクチンというのは全国的なあれですから、そういうところ、他の自治体でも、何か届出をすればできるというシステムになっているんでしょうか。

○歌川保健福祉部長 今のお話、例えば高齢者の方で、入所施設、都外に入っている方とかいらっしゃる方とかいらっしゃいます。これについては、既に引抜きをして、そちらに転送するようなことも対応してまいりますし、また、施設のほうから住所地特例がかかっているような場合には、千代田区のほうにお話が来るということになっております。ただ、一時的にどこか入院しているとか、そこまで区のほうで把握できないものもありますけれども、お問い合わせに対して、ワクチン担当だけではなくて、所管全てがこのコロナのワクチン対応が始まるということを共有して、連携して、漏れがないように対応していくということになってございますので、よろしく願いいたします。

○飯島委員 お願いします。

○嶋崎委員長 よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎委員長 いずれにしても、そちらも、理事者のほうも大変なご努力を頂きながらこ

れから進んでいくわけで、ご労苦には感謝しますが、とにかく丁寧にやっていただきたいと思います。よろしいですね。はい。

それでは、この予防接種の件については終了いたします。

次に、日程2、申し送り事項についての案でございます。

事前に正副委員長としてご提案をさせていただきました。何か皆様方からご意見等ございますれば、ここで伺いをしたいと思いますが、いかがですか。

長谷川委員。

○長谷川委員 申し送り事項についてなんですけれども、特に文言を変更していただきたいということではなく、ちょっと確認だけさせていただきたいと思います。

神田錦町三丁目の福祉施設の整備について、1年、計画が遅れている状況があります。丁寧に進めるには時間がかかるのは十分承知しておりますけれども、そここのところの進め方を、皆さんのお考えも、お考えというか、区民の要望も聞きつつ、丁寧に進めていただきたいというのと、あと、私のほうに特に要望があるのは、風ぐるまの運行、あとフレイル対策のシルバートレーニングについて、これは区民の声を聞いていただきたいというような声が上がっていますので、そこは丁寧に進めていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○嶋崎委員長 それは向こうに聞かれても、私たちがやっているんで……

○長谷川委員 あ、すみません。（発言する者あり）ごめんなさい。

○嶋崎委員長 私たちのほうで、そこのご意見は反映をできるような形で入れ込めればというふうに思います。そんなに、文言の中でそこがある話じゃないんで、そこら辺をもうちょっと丁寧に、書きっぷりを少しお任せを頂ければありがたいです。

○長谷川委員 はい。よろしくお願いします。

○嶋崎委員長 ほかにありますか。

○内田委員 本当にささやかなことで、1点だけ。1のワクチン接種のところで、2段目で、「接種対象者へのクーポン配付」と書いてあるんですけども、ここは庁内の文言と合わせて、「接種券配付」としたほうがいいのではないかなと。すみません、ささやかなんですが。

○嶋崎委員長 そういう言い方をしていないからね。

○内田委員 はい。

○嶋崎委員長 はい。じゃあ、ここは直しましょう。

飯島委員。

○飯島委員 やはり1の中に入ると思うんですけども、ワクチンが万能かということ、そうじゃないと思うので、ここに何か、やっぱり検査、そこもやっぱり重視していくという一言を加えていただいたほうがいいかなと思うんですが、いかがでしょうか。（発言する者あり）

○嶋崎委員長 そこはどうでしょうかね。

○飯島委員 だけど、これだと、もうワクチン……

○嶋崎委員長 ちょっと休憩します。

午前11時30分休憩

午前11時34分再開

○嶋崎委員長 それでは、委員会を再開します。

何点か今ご意見がありました。で、頂いた意見については、もう一回正副のほうで預からせていただいて、ご一任を頂きまして、後日、皆様のもとにはご配付をするということで、この申し送り事項の「(案)」を、そのときには取らせていただきたいというふうに思いますけど、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎委員長 はい。それでは、この件に関してはそのようにさせていただきたいと思います。

次に、日程3、その他に入ります。執行機関から何かございますか。

所長。

○原田地域保健担当部長 報道でもご存じのとおり、新型コロナの患者の増加が目立ってきております。お手元でございますこの区内感染者数の推移でございますが、最後の時点、4月15日時点で602名ということでございますが、この16日から昨日まで、また10人、区民の患者さんが増えました。区内の発生届は、それから約2倍から3倍の患者さんが出ているというところでございます。より一層の予防対策が必要かなと。これから変異株もだんだん広がってまいりますので、そういったことが必要かなと思っております。

諸外国では、高齢者にワクチンが進んだ国では、かなり高齢者の発症が抑えられておりますので、ぜひこのワクチンについても進めていきたいと存じます。

以上でございます。

○嶋崎委員長 はい。感染状況の対策の状況についてご報告を頂いたということでございます。

よろしいですか。

○大串委員 その点で。

○嶋崎委員長 はい。どうぞ、大串委員。

○大串委員 この件については、最近では、何というんですか、変異株というの、新しいN501Y型というんですか、これが非常に増えているということで、墨田区さんなんかはこの検査をこれからやりますよというのがニュースになっていました。千代田区ではどうなんでしょうか、この新しい変異株に対する検査というのは。

○原田地域保健担当部長 現時点では、まだここまで手が回っていないというのが現状でございます。状況によっては検討していきたいと思っております。

○大串委員 お願いします。

○嶋崎委員長 よろしいですか。

○飯島委員 関連で。

○嶋崎委員長 飯島委員。

○飯島委員 今、大串委員は、N501Y、それを言われて、感染力が非常に強いというふうに言われていて、またE484Kというのは、これはまたワクチンにあんまり効力がないと、そんなふうにも言われているわけですね。そういう意味では、先ほどちょっと申し送りの中でもお話ししましたが、PCR検査というのは、まだこれから今後引き続いて必要ということではあるんでしょうか。ワクチンに対してあんまり効力がないということになると、何かそこら辺のところ心配になるんですね。そこはいかがなんでしょうか。

か。

○原田地域保健担当部長 E484型につきましては、確かに従来のものよりは効きにくいというお話がございますけど、一定の効果があるというデータも出ております。PCRについては、当然、例えば、今、区内で行われております高齢者施設ですとか、そういったところについてはきちんとやっていく必要があると思いますけれども、そのPCR、これは各先生方によってご意見が違ってくるのですが、PCRを全体に広げることだけで抑えられる病気かという、そうも言い切れないかなというふうに私自身は考えております。

○飯島委員 いや、PCR検査を抑えるのではなくて、陽性の方を見つけるわけですからね。見つけた上でどういうふうに対処するかということなんで、そこのところは、見つけるという意味では、必要なかなというふうに思うんですけども。今のお話だと、何かそうではないというような感じなんですか。

○原田地域保健担当部長 PCR検査も、対象によっては非常に効果のある対策と考えております。ただ、ただ広げることによって蔓延が防げるかという、そうも言い切れないかなというふうに考えております。

○嶋崎委員長 よろしいですね。

○飯島委員 ちょっと意味が分からない。

○嶋崎委員長 ほかに執行機関はあるの。

はい。どうぞ、担当課長。

○湯浅障害者福祉課長 第3回（仮称）神田錦町三丁目福祉施設整備説明会の開催について改めてご報告させていただきます。

既に4月5日の広報と5日に委員の皆様にご報告させていただいておりますが、改めてご報告をさせていただきます。

説明会の日時でございますけれども、4月の25日の日曜日、午前10時から11時30分程度を予定してございます。会場は千代田区役所1階の区民ホールでございます。こちらにつきましては、委員の皆様のご報告は、当日頂いたご意見など含めまして、改めて、説明会后、皆様のほうに、資料提供、ポスト投函をさせていただきたいと考えてございます。

ご説明は以上です。

○嶋崎委員長 はい。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎委員長 はい。では、またそれは順次下さい。

執行機関、もうありませんか。よろしいですか。

委員の方から。（「なし」と呼ぶ者あり）よろしいですか。はい。（発言する者あり）

飯島委員。

○飯島委員 いや、さっきの報告の中の、この、何ですか、健康推進課からのこの資料の中の、「九段下仮設診療所におけるPCR検査について」の文言の中で、最後のほうに、「PCR検査の必要性が高まった際には受付を再開する」と。それは、多分九段下のテナ、あれをやめるかどうかということにつながってくるんだと思うんですけども、一応あそこには置いておいて、で、いつまで置いておくのかとか、あそこが一般的にまた以前のように使えるように、いつになるのかなとか、そこのところを、同じことな

んですけれどもね。そういう意味では「PCR検査の必要性が高まった際には」というのは、これはどういう状況のことを言っているのかなと思うんですね。で、一定程度ワクチンが対象者に全部終わったと。そうなったら、もうあそこの九段下の仮設診療所というのは要らなくなるという関係になるのか。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 もともと九段下の仮設の診療所、あちらを開設した昨年ですね、もう、1年ぐらいになるんですけど、その際には、発熱等の症状がある方、そういった症状がある方も、なかなかPCR検査を受けられない状況でございました。

ただ、今の状況はといいますと、各診療所だったり病院で、そういう方たちも受ける受皿というのは十分に今現在整っていると。そして、そちらのほうで皆さん受ける方も多くなっておりまして、3月の予約の状況などを見ますと非常に少なく、1日、0件という日も、何日もございました。

そういったところで、発熱等の症状のある方につきましては、保険適用で検査をやることも、受皿も多くなってきたというところで、一旦やめるといふよりは一旦予約等を休止をする、と。ただ、それでも、そういった症状のある方たちが受ける場所がまた非常に多くなってきて、感染の方が本当に今以上に、今考えられるよりも増えてきて、そういった受ける場所が少なくなってきて、足りないというような状況になればまた開けるというようなことができるように、あそこについては、年度内に関しては一応使うつもりでありますし、ただ、そういった症状のある方であそこを使うだけではなく、ヘルパーさんですとか、そういった従事者の方たちのPCR検査というのも今現在やっておりますので、仮設診療所を閉めたわけではございません。

以上でございます。

○飯島委員 そうじゃなくて。

○嶋崎委員長 飯島委員。

○飯島委員 いや、そうではなくて、ワクチンが一定程度対象者のところに終わったと。そういうふうになるのは、年度末まで待たなくても、なるわけですよ。そうなったら、もう、その後というのは、仮設は必要なくなるという、そういう考えなのか。というのは、以前のように使いたいという声があるもので、それ、いつになったらなんでしょうね、なんて聞かれたりするもので、そのめどというのが、ワクチンが大体接種が終わったらもう必要ないということで、それは年度内、年度末を待たなくても撤去するのかどうかということなんです。

○山崎新型コロナウイルス予防接種担当課長 あくまでも先ほどもお話が出ていたかもしれませんが、ワクチン接種というのはこの感染対策の一つ手段だというふうなことで、ワクチンを打てば全てが元どおりになるというふうには考えてはいません。ですので、九段下の仮設の診療所に関しましても、そのときの感染状況等を踏まえて、もし仮にもう撤去しても大丈夫だぞというような判断であれば撤去をいたしますし、いや、まだ様子を見ようというふうになればまだ置いておくと、そういうふうなことでございます。あくまでも、本当にそのときの感染状況によるかなというふうには考えております。

○嶋崎委員長 はい。よろしいですね。はい。

それでは、その他を終了いたします。

よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○嶋崎委員長 はい。それでは、これもちまして保健福祉委員会を閉会といたします。  
お疲れさまでした。

午前11時45分閉会